

## 動物飼育Q &amp; A

【「高病原性鳥インフルエンザと学校飼育鶏  
～安心してふれあうために～」パンフレット概要】

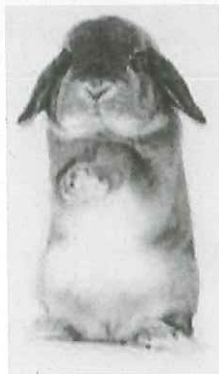
(2009年1月末 全国の保育園, 幼稚園, 小学校に配布)

なにかと鳥インフルエンザへの不安が喧伝されています。都内のある離島の獣医師によれば,

「3年前には島の学校の子どもたちは, 学校の具合が悪くなったチャボを必死に抱いて動物病院にきたが, その後, 具合が悪いチャボには触らないとの指導があるのか, まったく訪れがない」とのことです。これは鳥インフルエンザ不安のためだと思いますが, 愛情と科学の教育からは残念なことです。

そこで, 今年1月に「不安はないよ」, という表記パンフレット・マニュアルが発行され配布されました。これは, 社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会が作成したもので, 世界的な北大の喜田研究室の迫田准教授が座長になり, 本会事務局長が学校の動物の専門家として文案を担当しました。

この原案は, 農林水産省, 文部科学省スポーツ青少年局, 初等中等教育局, 厚生労働省, 社団法人日本獣医師会などとのすり合わせ後, 文部科学省初等中等教育局教育課程課を通じた文書をつけて, 配送されました。また厚生労働省との協力のもとに, 自治体保育課を通じて保育所にも配布されました。



また, 同時に, 学校を支援する獣医師会員全員に, 各県の社団法人獣医師会を通じて配布されました。  
＜パンフレットの内容から＞

「鳥インフルエンザと学校飼育鶏～安心してふれあうために～」は, とにかく教育関係者の「鶏すなわちウイルスを人に移す」との誤解を解くように注意して作られました。

○高病原性鳥インフルエンザは鳥に高病原性をもつウイルスで, 人の病気ではない。

○鶏が元気だったらこの病気ではない。

○元気を保てるように餌水を切らさず, 暑さ寒さから守ること。

○鶏を, 野生の水鳥とその生活水と接触させないこと。

○本当に注意が必要なら, 近くの獣医師が家畜保健衛生所と協力して適切な指示をしますので, その指示にしたがって心配しないで子どもと鶏をふれあわせてください。

・発行元: 全国家畜畜産物衛生指導協会 <http://eishikyo.lin.go.jp/>

・パンフレットダウンロード

[http://eishikyo.lin.go.jp/news.files/H20school\\_pamph.pdf](http://eishikyo.lin.go.jp/news.files/H20school_pamph.pdf)

・他の合鴨, ダチョウ, 家庭鶏編などのパンフレットもあります